

第4回 香川レインボー映画祭 実施報告書

香川レインボー映画祭実行委員会

代表：藤田博美

(第4回香川レインボー映画祭実行委員長)

〒760-0032 高松市本町 4-12-205 代表電話番号：090-1320-9050

映画祭メールアドレス：info@kagawa-rff.org

1. 実施概要

日程	2008年9月14日(日) 11:00~19:30
会場	e-とぴあ・かがわ BBスクエア(高松サンポート・シンボルタワー4階)
料金	前売券：1回券 1,000円、3回券 2,500円 当日券：1回券 1,200円、3回券 3,000円 (すべて税込)
主催	香川レインボー映画祭実行委員会
後援	香川県、高松市、高松市教育委員会、四国新聞社、RNC西日本放送、 FM高松コミュニティ放送、FM香川、e-とぴあ・かがわ、 PROUD in 香川
協賛	(株)NTTドコモ(香川)、JEANS FACTORY(高知)、cafe de flots(香川)、 ディスクインロッキー(香川)、DEAR(香川)、(有)KYKプランニング(香川)、 (有)植松工務店(香川)、Bar次元(香川)、DEN cafe(岡山)、 カフェ&ライブ Slow Step(香川)、ファンタジー(香川)、CAMEL(岡山)、 Kyōrata(岡山)、モダンタイムス(香川)、pop up laboratory(香川)、 L.s.E(愛媛)、クイレインボウパレード福岡(福岡)、QWRC(大阪)、 Ehime Gay Walker(愛媛)、物品供与：四国コカ・コーラボリッシング(株)(香川)
協力	SPIRAL、東京国際レズビアン&ゲイ映画祭、関西クィア映画祭、 ホール・ソレイユ
助成	四国労働金庫助成金対象事業

2. プログラム内容

▼11:00~開会式(無料)

エアロ・モモ ダンスパフォーマンス

実行委員長 挨拶

インディーズ短編作品(無料)

【何でも聞いてみよう】上映

【月のかげ】(公募作品)上映

「月のかげ」監督・吉野竜平氏 挨拶

▼12:40~Aプログラム【blue】上映

▼15:00~Bプログラム【プルートで朝食を】上映

▼17:30~監督挨拶&トーク(無料) 司会：ANNRI

「初戀/Hatsu-koi」監督・今泉浩一氏、同音楽担当・岩佐浩樹氏、

同出演者・堀江進司氏

Cプログラム【初戀/Hatsu-koi】上映

▼19:30~閉会の挨拶 実行委員長

3. 観客動員

インディーズ短編作品：79人（座席稼働率70.5%）*座席数は112席として計算。
Aプログラム：61人（座席稼働率54.5%）
Bプログラム：69人（座席稼働率61.6%）
Cプログラム：78人（座席稼働率69.6%）
総入場者：287人（うち招待客56人）、3回券の再入場込み

4. チケット売上げ枚数

3回券：ローソンチケット13枚、フライヤー券9枚、当日券7枚、計29枚
1回券：ローソンチケット18枚、フライヤー券28枚、当日券29枚、計75枚、
合計104枚

5. 広報活動

1) チラシ

- ・チラシ：5,000枚（A4サイズ：両面カラー）
 - ・チラシ簡易版：500枚（A4サイズ：片面白黒）
 - ・フライヤー：8,000枚（A6サイズ：片面カラー、裏面白黒広告）
- 中四国を中心として関連団体、イベント、飲食店、ショップ、公共施設、大学等で配布。

2) ポスター

300枚（B3サイズ：片面カラー）チラシと共に配布。

3) ウェブサイト

公式HP <http://www.kagawa-rff.org/>

4) 新聞掲載

四国新聞、毎日新聞、リビングたかまつ、四国新聞オアシス 等

5) 雑誌掲載

月刊香川こまち、月刊TJかがわ、月刊ナイスタウン、月刊バディ

6) ラジオ出演

FM高松、RNC西日本放送

7) テレビ出演

TVch451.tv、RSK山陽放送

8) その他

- ・放送局、新聞社、挨拶回り
- 毎日新聞、朝日新聞、四国新聞、山陽新聞、徳島新聞、愛媛新聞、高知新聞、香川朝日編集室、読売新聞、日本経済新聞、産経新聞、中四国デイリースポーツ、NHK日本放送協会(テレビ、ラジオ)、RNC西日本放送(テレビ、ラジオ)、RSK山陽放送、OHK岡山放送、KSB瀬戸内海放送、高松ケーブルテレビ、FM高松、FM香川
- ・9/7(日)、9/13(土)、9/14(日)、JR高松駅前にてチラシ配布

6. アンケート結果

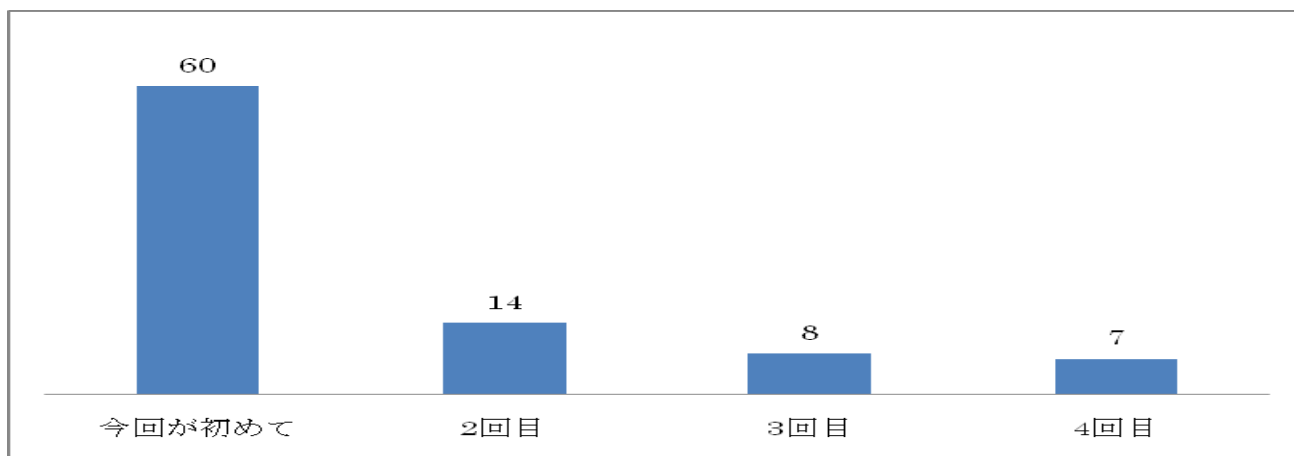
次頁より掲載。

第4回香川レインボー映画祭来場者アンケート集計結果

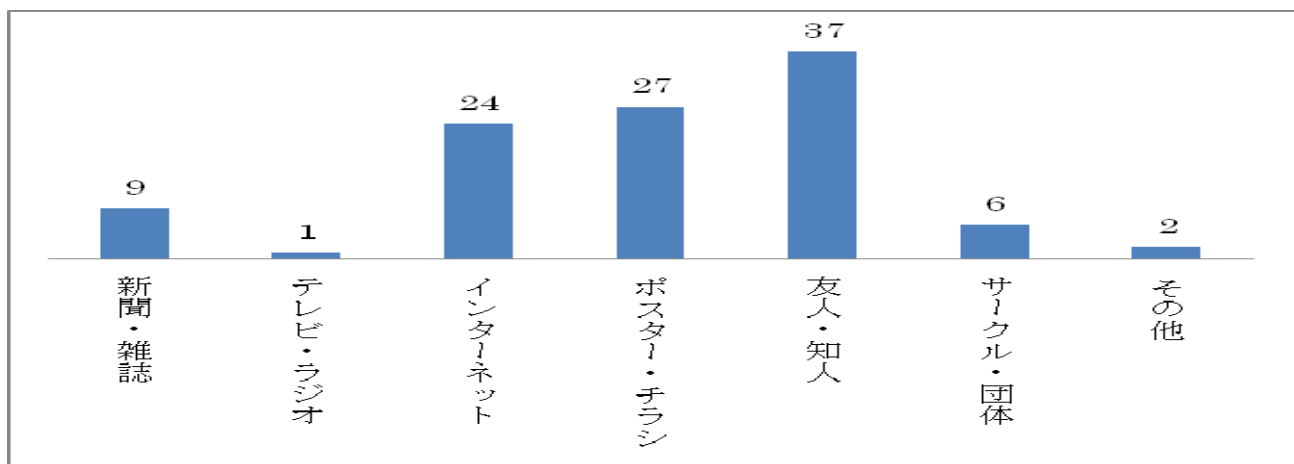
(2008/9/14、高松市サンポートeーとぴあ・かがわ)

回答数：89名

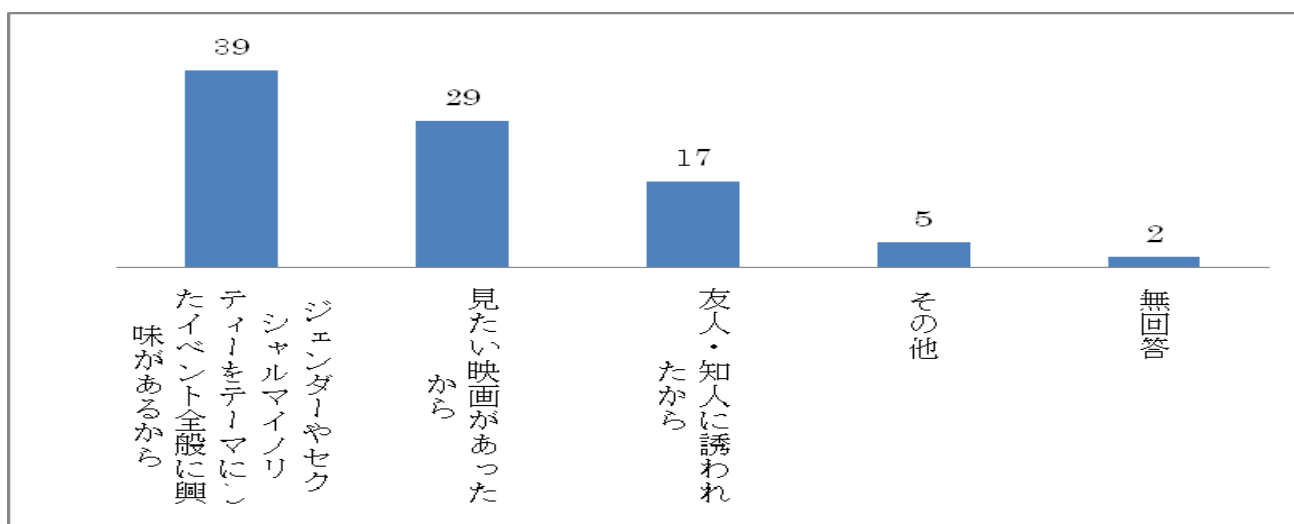
Q1 香川レインボー映画祭にいらしたのは何回目ですか？



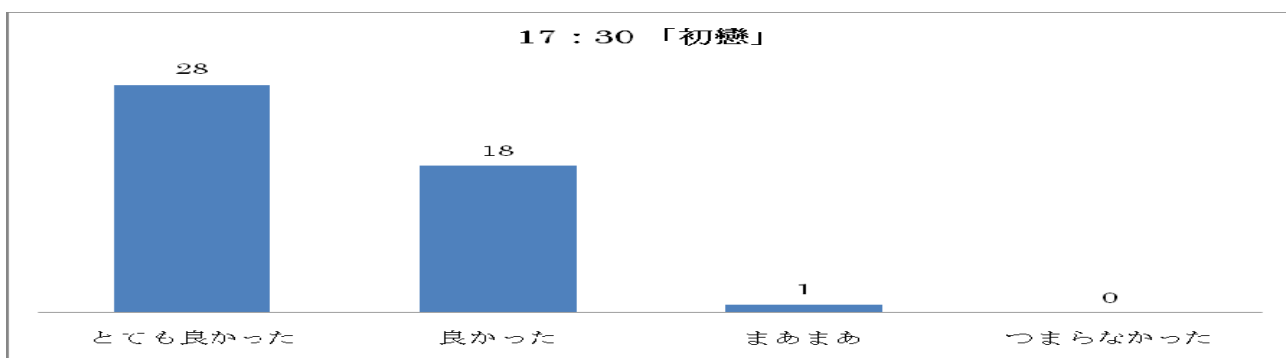
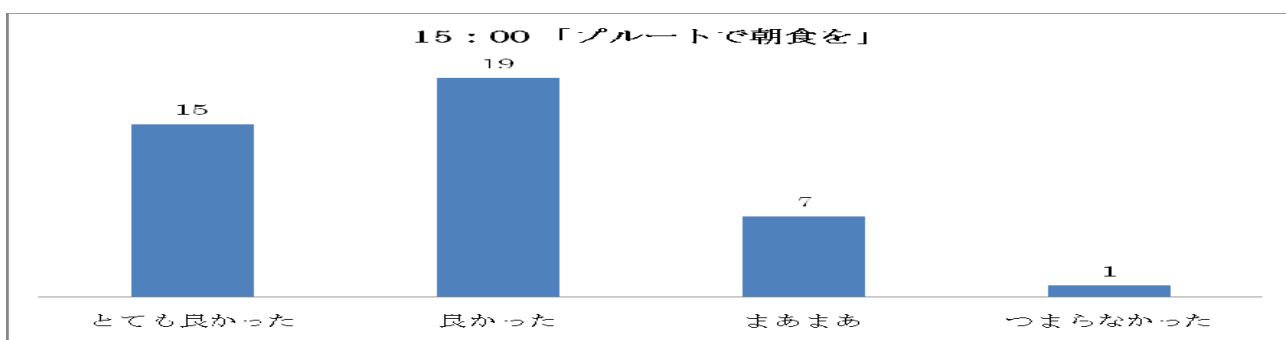
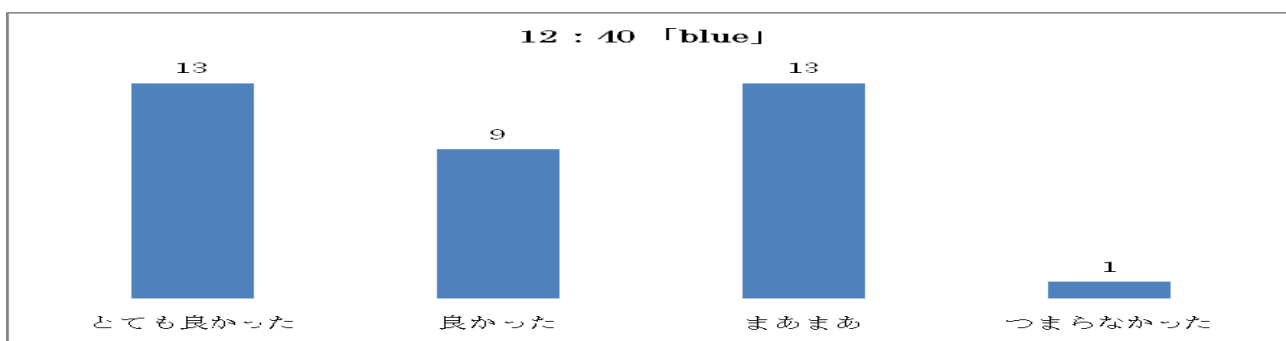
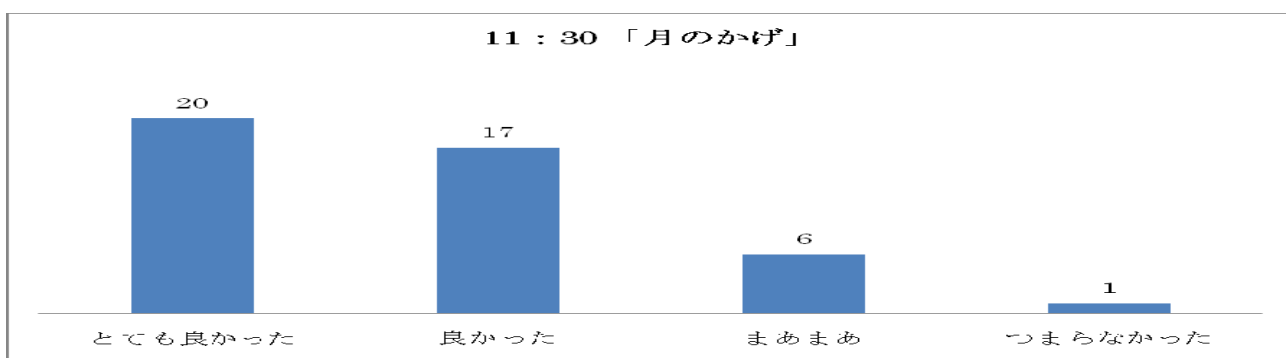
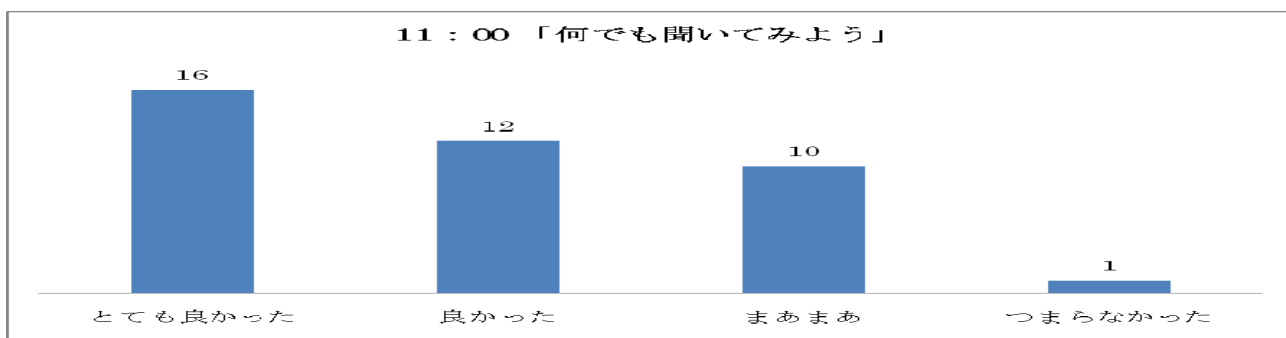
Q2 今回の映画祭を何でお知りになりましたか？(複数回答あり)



Q3 映画祭に来場された理由は何ですか？(複数回答あり)



Q4 今回の映画祭のプログラムでご覧になったものについて。



具体的な感想

■ 全体

- 見たのは3作品でしたが、どれも見ごたえがあって良かった。マイノリティーとしてこういう作品はより感情移入ができて感動しました。さわやかに帰れます。ありがとう。スタッフの方々おつかれさまでした。
- 去年も思いましたが、無料上映作品がとて素晴らしいと思います。見れなかった2本は借りて見ようと思います。
- 3本見た時のバランスは良いように感じました。
- こういった映画祭でしか見られない作品(今回のインディーズ作品のようなもの)がもっと見られると良いと思いました。ですが、見たかったものが見られて良かったです。
- もっと見やすい環境が整うと良いと思う。
- 初めて来たのですが、とても充実していたと思います。今ゼミでセクシュアル・マイノリティについて取り扱っていて、周りに興味を持ってきている人が多いので、たくさん誘ってくれば良かったと思いました。特に「初戀」は良かったです。
- 見た映画すべて楽しく見られました。
- 今までこのイベントは正直一切知りませんでした。たまたまサイトで見つけてこの映画を知ってどうしても見たいなと思って来てみました。
- 後味の良い映画の選出で好感がもてた。短編の映画の方が集中して見るができると思う。
- たった三作しか観れなかったけど、どれも今の私にないもの、新たに得たものがあったとても良かった。どの作品も「変化・変わること」の怖さ・大変さが写し出されていて、これらの作品を観て少し勇気付けられることが出来た。

■ 何でも聞いてみよう

- とても好きな作品です。子供たちの素直な反応に考えさせられ、男として女としてではなく、人として幸せになりたい。バルバラさんがステキ。
- ドキュメンタリーで、小さい女の3人の考え方の違いや、性格が見えてとても可愛らしく、そしてリアルで考えさせられました。
- 4回目くらいですが、何度見ても新しい発見のある映画で好きです。
- 前、見たことがあって、やっぱりおもしろかったです。
- 子供の方が理解力あるのねと思った。
- ある一つのトランスジェンダーの話が観れてとても良かった。

■ 月のかげ

- 後向きな女の子が前向きになるお話だったかなと。ハルミちゃん可愛かった。
- ブランコの場面が良かった。
- 短編にもかかわらず、色んな人間模様が描かれていて、そして色んな伏線があり、上手くまとめられていた。前の人がハンカチを出し隣の相手に渡しているのが見え、その人が泣いていた事に気がついた。そういうとこに気づける関係ってステキだなと思った。
- 切なかった。
- 今日上映された5本の中で一番楽しかったです。脚本が良くて、耳がふさげませんでした。
- どこかしこに共感が持てて、ふと止まって考える場面がたくさんあってよかったですねー。
- アパートに転がり込んできたおかまの表情から心の浮き沈みがよくわかった。
- 自主制作にしてはストーリーがよくできていると思う。
- 同性愛の悩みだけでなく『生きること』を見つめ直すことのできる映画だった。
- ストーリー展開がおもしろかったです。
- 普通におもしろい映画だった。人の本質的なものがよく見える題材であった。

■ blue

- 同性愛の話でレズビアンのお話を観たのは初めてだったのでとても良かった。また作品の中で今私が考え苦しんでいるセリフがあった。
- やや単調は気がしたが女の子たちの表情がとてもキレイでした。
- 芸術寄り?の静かな作品(小西さんがかわいかった)
- キシマの気持ちが痛いほど分かって苦しかった。
- 後半、冗長になっている。
- どういう感じで上映が決定したのかお話を伺ってみたいなと思いました。
- 自然なのが良い。

■ プルードで朝食を

- IRAのことはあまり詳しく知りませんので、その点で「プルード」は難しかったです。バランスの取れた充

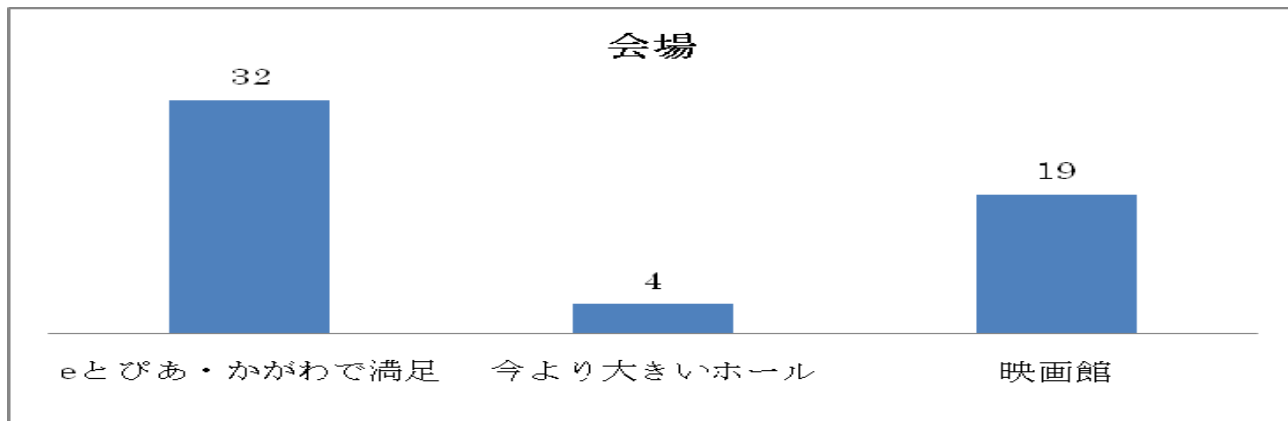
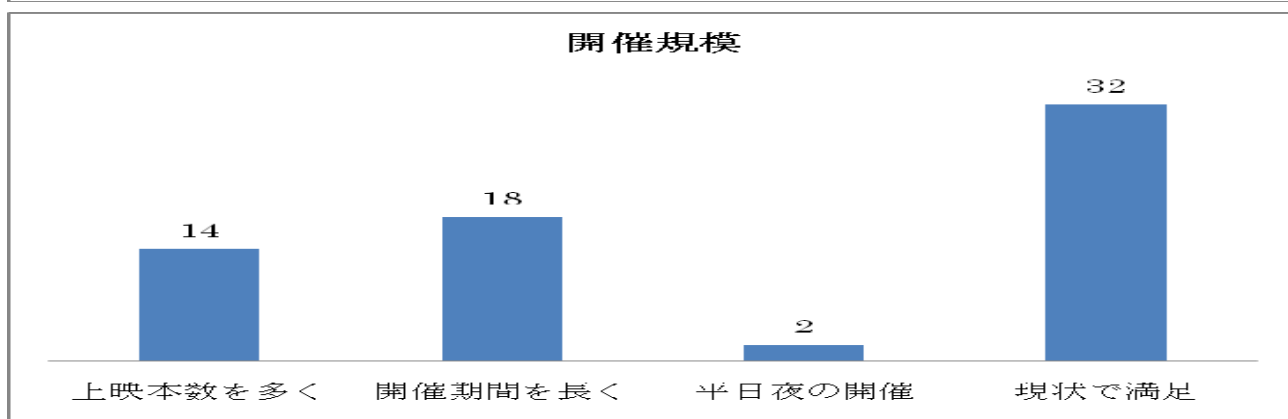
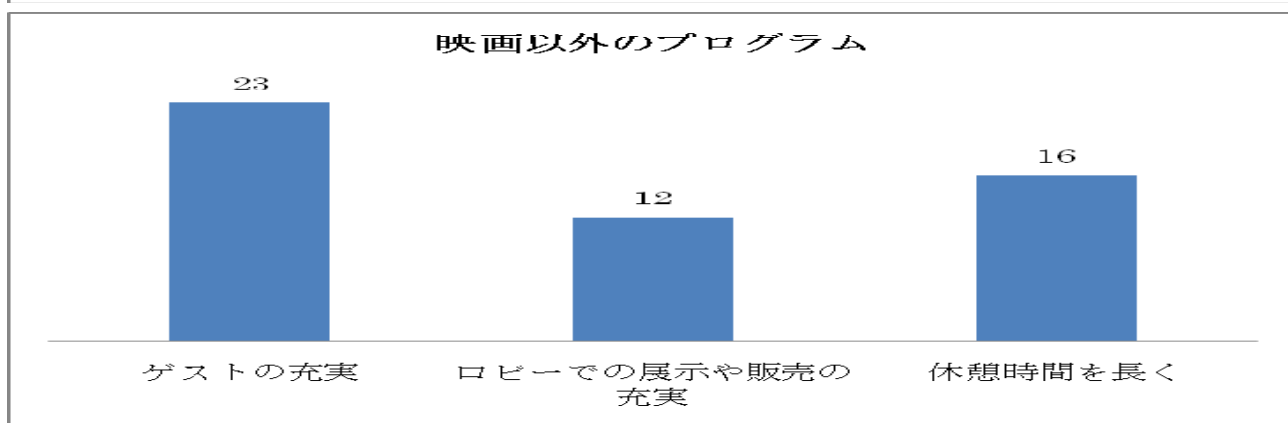
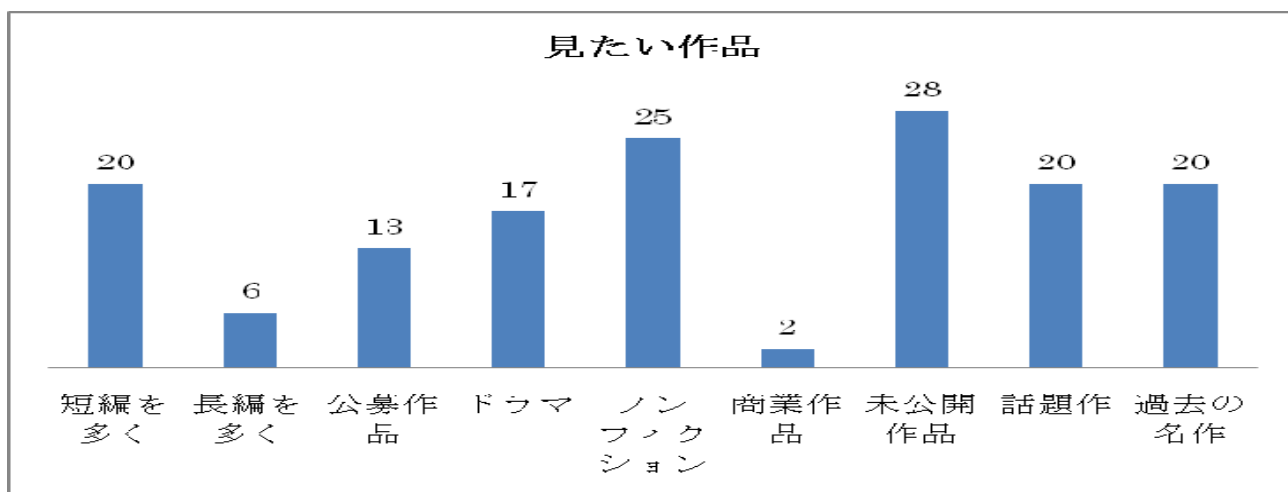
実したプログラムでした。

- 結構悲惨な出来事が起こっているのに、常に前向きな主人公が素敵。
- コメディ調で少しハードな背景のある作品(金髪になってからの美しさにびっくりしました。化粧技術？笑)セクシャル以外で)が感じているもの(つらさ、楽しさ、うれしさとか)いっぱい共感できるトコがあってうれしい。
- いまいち訴えたいことが分からなかった。
- 一番後ろの席から字幕が見にくかった。映画自体はキャッチーで良かったので、もっと見やすい環境が整うと良いと思う。
- 明るくてポジティブな考え方に元気をもらいました。とてもかわいい映画でした。良かったです。
- のぞき部屋を懺悔室にするアイデアが面白い。
- 偏見のない友人達と主人公が素直なところが素敵だった。前向きなところも。
- テンポの良さにひきこまれた。
- セクシャリティだけではなく、戦争、ドラッグ等、様々な人がいて生きている事の大切さ、自分の大切な人について考えさせられた。
- 主人公がべっぴんさんだったので見習いたいと思いました。Back ground に戦争と云うテーマも盛り込まれていたのも、セクシャル云々より重いテーマだったかもしれません。

■ 初戀

- 同性愛映画にはまれなハッピーエンドで終わっており、軽く明るいタッチで描かれていたので見ていてこちらまでハッピーになりました。ゲイ友達が居ないので、出演者の方と是非お友達になりたいと思いました。日本で上映がされないのが不思議です。
- リアルな作品(ヒロキくん辺りはすごくほんわかしたり、キュンとききました)
- 様々な人の心の中をちゃんと出せていて良かった。同性愛について知らない人が見ても、伝わるものがつまっていた気がします。
- ハッピーで皆とてもキュートでした。結婚についての話題を取り扱っていて考えさせられました。
- 去年も見ましたが、今年はゲイである自分が楽しめたと思えます。(去年は一般向け??)結果明るくなれたので良し!!
- 「ずっと言っちゃいけないと思ってた」とただし君が泣くシーンにグッときました昨日言えなかった所なので…
- 自分自身の生活と照らし合わせて、考えさせられました。
- 絶対ただしは早まったと思う。コータ…残念。
- 最初、高校生のパートと大人のゲイのパートのテンションが違いすぎてとまどいましたが、高校生が3人出会ってからは良かったと思えます。
- 特に「初戀」は良かったです。
- 自分も悩んだ時があったなあと思えなくなりました。幸せな感じで終わり、気分良いです。新婦2人には驚きました。
- 主人公の表情の変化がかわいかったです。最後の2人のウェディングドレス姿よかったです。
- 単に同性愛をテーマにした映画ではなく、すごくリアルにストレートだったのが、共感できました。
- 今までこのイベントは正直一切知りませんでした。たまたまサイトで見つけてこの映画「初戀」を知ってどうしても見たいなと思って来てみました。主人公の男の子の気持ちが共感できる部分が多くとても良かったです。
- 初めの内は、どうなる事かとハラハラしましたが、良い作品を観せていただきありがとうございます。その上で、監督さんには一つお願いがあるのですが、これからも息長く、作家性のある作品作りを続けるようでしたら、一生の内には一回くらいは、監督の作品の内にノーマルな(真逆な)恋愛作品を観てみたい。この作品が監督にとって何作目の物なのか、自分は不勉強で大変申し訳ないのですが、この作品の価値をさぐる上において、ぜひぜひ次回作なりちょっと観てみたいと興味があります。重ねてよろしくお祈りします。(20年前のビジュアルアーツOB)
- ハッピーエンドで、テンポもよく、飽きることなくとても楽しく観させてもらいました♪ただ、主人公(タダシ)のセリフで、ケイゴと両想いになった後、『彼が僕を好きになってくれた時、自分が少しだけ好きになりました』というセリフ、メッセージが気になりました。これは作品全体のメッセージにもかかわってくると思いますが、相手、周りに認められないと、自分を肯定できないのは悲しいと思いました。そのへんが少し議論が分かれるところかな、と。
- 男の子どうしても同じように恋をするんだなーって共感。でも男女より大変なこととか結婚のことについて考えられてよかったですー。

Q5 第5回や今後の映画祭にあなたが期待する事は何ですか？(複数回答あり)



■その他のご意見、ご要望など

●具体的な作品名

- 「1999年の夏休み」
- 「Show me love」
- 「アイノカラダ」
- 「胡蝶」
- 「水のつぼみ」

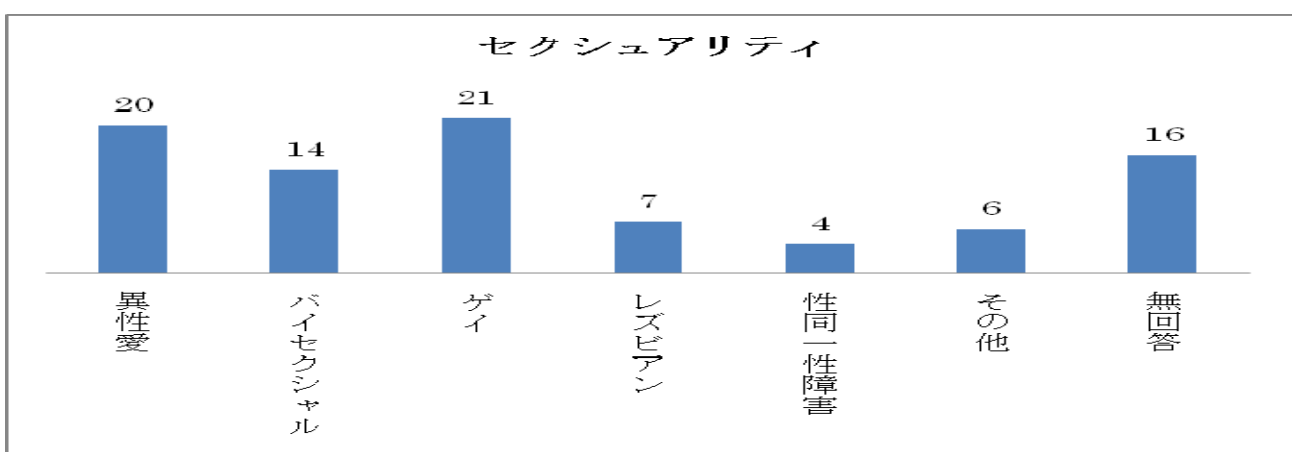
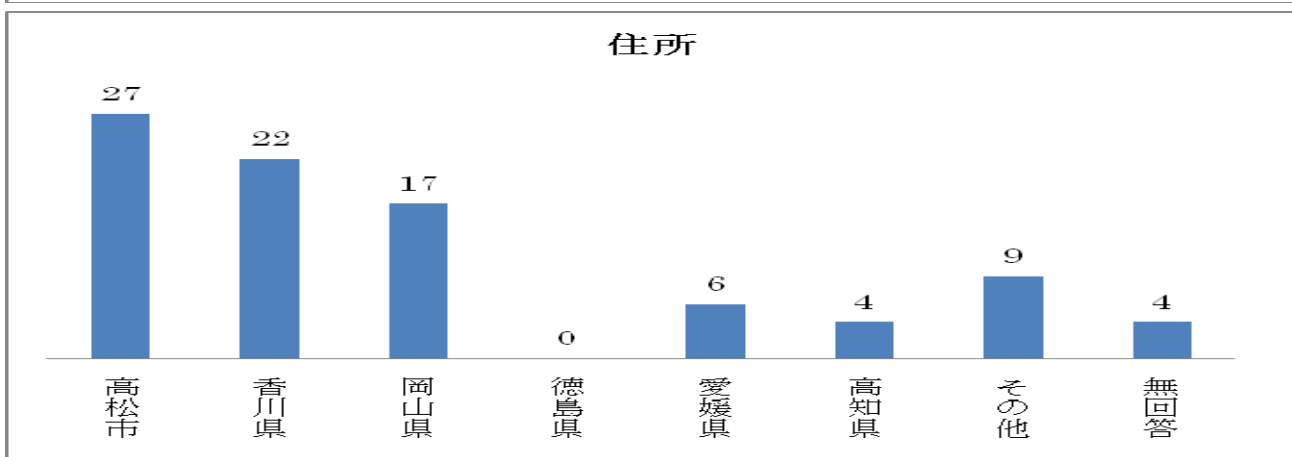
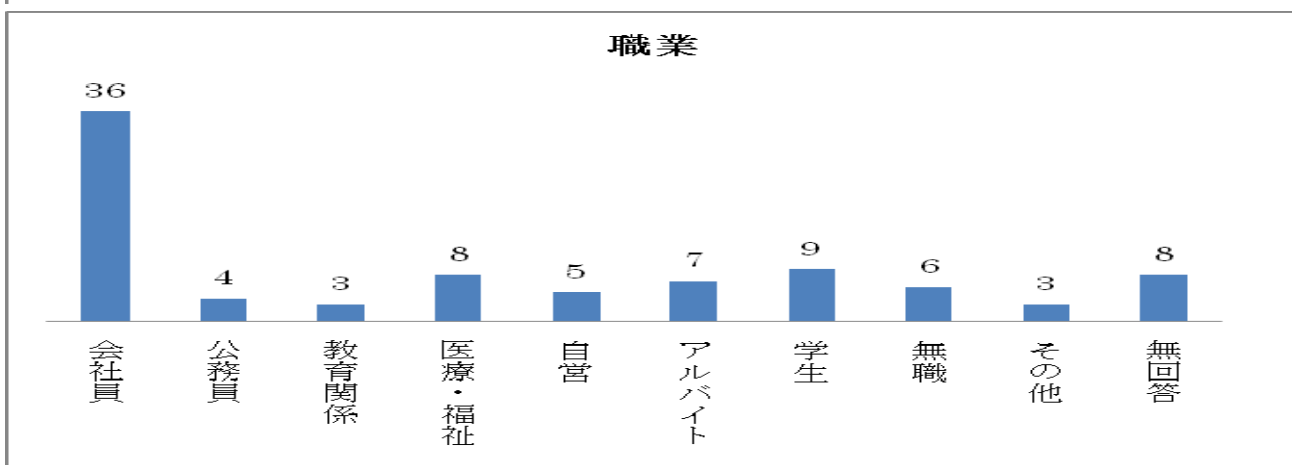
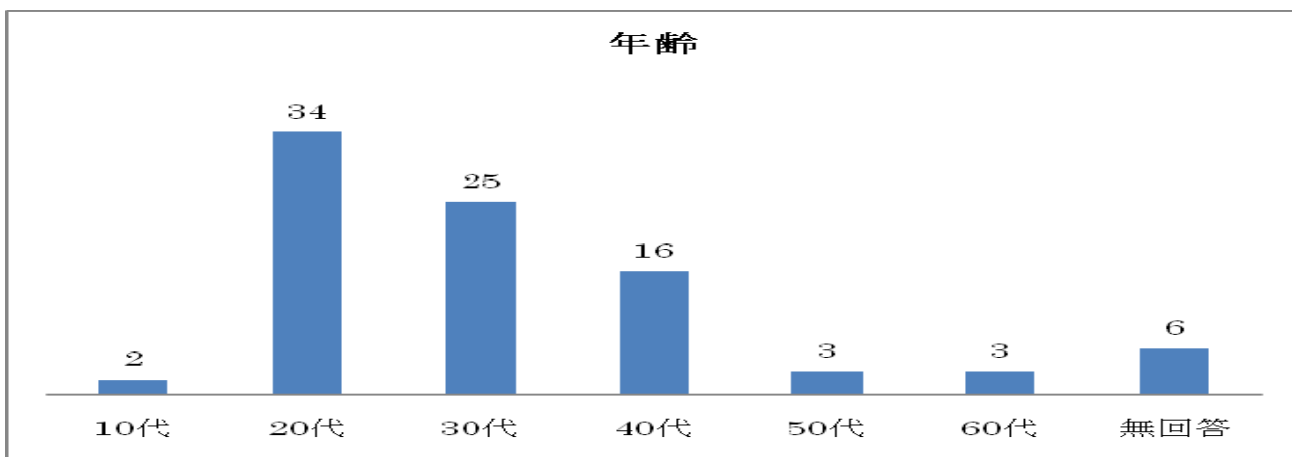
●具体的な会場名

- ソレイユ2
- ソレイユ
- サンポート小ホール
- ワーナーマイカル

●その他

- ・画面が低いのとイスの並びがガタガタじゃないので、後ろの席だと画面下の方が人の頭で見えなかった。
- ・司会進行の挨拶が良かったです。(アンリさん) もっと皆と交流できる場があれば良いと思います。
- ・長編を見るにはイスが痛かった(笑)
- ・会場を岡山でしてほしい。
- ・会場入り口から、スタッフの方々の行き届いた心配りがすごいなあと思いました。ありがとうございました。
- ・スポンサーのCMを放送して、宣伝料的なものももらって運営資金にしたらどうか？
- ・去年みたいなトークイベントをしてほしい。次こそは、何らかの形でお手伝いしたいです。
- ・もし？なのですが、スクリーンが少しよってればもう少し字幕が読みやすいかと感じました。がんばってください!!!
- ・1本ごと映画が終わるたびにトークショーなどがあると良い。ディスカッションとか。来ている人同士がワイワイこの映画の会場できると良い。
- ・普段、頑張って探さないと見つからないような、どちらかと言えば無名な作品。休憩時間はもう少し長くてもいいかな？と思いました。あまり多くても集中力が切れてしまうので現状で満足。全部見たいし。
- ・鉛筆削りがあれば…
- ・都合で短編見られなかったのですが、すごく見たかったです…
- ・次もまた来ます！だから次も日曜が良いです！！
- ・皆が交流できるよう、立食パーティーなど
- ・シーメールとか？
- ・たくさん映画を見たいから、あのイスは疲れますね。仕方ないんじゃないけど。会場全体の雰囲気、アナウンス、スタッフさん達の動き、とてもステキです。でも3作品を通して思ったのは、みんながハッピーエンドになれる世界になること。お互いがお互いを認めあえて、自分と違う他者を排除しないこと。色んなことがあるけれど、みんなが笑顔になれる世界にしていかなといけんなあと思った。同じ立場の人達が支えあえるコミュニティ作り☆支えるってなに？を解消したい☆安心できる関係☆もっともっと！！！！色んなマイノリティ(セクシャル以外で)が感じているもの(つらさ、楽しさ、うれしさとか) いっぱい共感できるトコがあってうれしい。
- ・休憩時間を長くしてほしい。食事休憩
- ・見たい映画があれば参加します。
- ・傾斜のない会場なので、椅子を互い違いに置くなど配慮してほしかった。
- ・今日すべての作品を見せていただいたのですが、イスが・・・体に結構キました。
- ・ブランケットサービスなどあれば良い。次回も来たいです。
- ・ドキュメンタリー。カップラーメンとか販売してもらえると、短い休憩時間でも大丈夫だと思いました。
- ・お昼休憩はほしいですー。
- ・同性愛に偏見はありません。特別に扱いすぎの気もするけど？席が同じ高さなので後ろになると見えにくい。
- ・やはり映画館でないので見づらい。
- ・真ん中だと字幕が見づらい。2日くらいに分けてもよいと思います。がんばって下さい。
- ・椅子が悪いだけです。
- ・席が平位置なので前の人の頭で少し観づらかった。
- ・字幕が見えにくくて苦労した。(内容は良かったと思うよ。)主催者を含め、スタッフの方々お疲れ様でした。
- ・イスが固いので長時間作品を鑑賞すると肩が痛くて…。専用のシートでないと辛いものがありました。

Q6 あなたのことについてお答えください。



7. 会計報告

第4回香川レインボー映画祭実行委員会 会計報告書
 (2008年1月1日～2008年12月31日) 9月30日現在

	科目	予算額	決算額	
収入	前回繰越	¥337,592	¥337,592	
	チケット売上:前売券、当日券	¥250,000	¥156,800	
	自己資金(会費)	¥50,000	¥30,000	
	カンパ収入:個人、団体からのカンパ	¥50,000	¥22,614	
	協賛収入:お店、団体等の協賛	¥50,000	¥85,000	
	広告収入:チラシ・チケット等広告料	¥50,000	¥75,000	
	物品売上:会場での書籍、グッズ販売等	¥50,000	¥23,600	
	助成金:四国ろうきん	¥200,000	¥100,000	
	その他収入:利息	¥0	¥5,429	
		収入合計	¥1,037,592	¥836,035
支出	会場費:上映会場、機材費込み	¥50,000	¥55,000	
	作品上映料等:作品料、作品送料、ゲスト出演料等	¥350,000	¥187,190	
	広告宣伝費:HP、チラシ、ポスター制作費、配布経費等	¥210,000	¥184,292	
	物品仕入れ:会場での書籍、グッズ販売等	¥50,000	¥13,397	
	スタッフ費:駐車料金・広報活動費等	¥100,000	¥46,435	
	資材・教材費:研修会・試写会費用	¥100,000	¥1,795	
	その他:事務用品、記録費、手数料等	¥140,000	¥57,495	
	支出合計	¥1,000,000	¥545,604	
収支	繰越金:次回の実行委員会へ繰越	¥37,592	¥290,431	

8. 総括

◎開催までの経緯と目標

セクシュアル・マイノリティ(同性愛、性同一性障害など)に関する偏見や誤解を解き、正しい理解を広めていくために、それらをテーマにした映画を上映する「香川レインボー映画祭」を2005年より毎年開催している。4回目となる今年は、国内外でも評価の高かった作品を集め、広く社会に認知され、来場者の心に残る映画祭を目指した。

◎小さな実行委員会でのスタート

1. 今回、スタート時から少数の実行委員であると把握出来ていたため、遅延なきよう早めに関係準備に取り組んだ。小さな組織であったため、個々の負担は増えたが、意思疎通が図れて、情報共有と意思決定のスピードがアップした。
2. 実行委員会の継続運営、安定のために、ボランティアスタッフ育成の研修会を企画し、5回開催した。回を重ねる毎に新たなスタッフの加入もあり、徐々にではあるが、成果が期待出来るので、次年度もぜひ継続させていきたい。

◎今回の取り組みと成果

1. セクシュアル・マイノリティに関する偏見や誤解を解き、正しい理解を広める活動と認識していただき、今回も多方面からの後援、協賛をいただいた。又、ポスター等に広告枠を新たに設け、有名企業から協賛広告をいただくことも出来た。
2. 四国労働金庫の社会貢献活動助成対象事業としても前年に続き認められた。
3. 広報面では、テレビ、ラジオ、雑誌、インターネットを活用した。インターネットにおいては、web配信されている番組への出演や、SNSと公式サイト、スタッフ日記を活用し、これまで以上に頻繁な情報発信が行えた。ポスター、チラシ類の配布については、他県の場合の多くはサポーターに依頼する形をとったが、この方法は効率が高く広報効果があり、また経費削減も図れた。新たに、直接的なアクションとして、街頭での事前のチラシ配りにも取り組み、集客・認知度向上の点でも効果的だった。
4. チケット販売は、遠方からの来場者の利便性も踏まえ、前回からのローソンチケットを採用した(青森、東京からの来場者あり)。加えて新たな試みとして、割引付きフライヤーを制作し配布した。このフライヤーによる入場収入はチケット売上の32.2%となった。
5. これらの取り組みの結果、今まで以上に認知度が上がり、特に、初めての来場者や、セクシュアル・マイノリティ当事者以外の来場が多かった。

◎集計データから見えてくるもの、今後の課題

1. 観客のアンケートでは多くの貴重な意見をいただいた。映画祭、作品、会場に対する要望には応えるよう努力したい。
2. 経費削減は図れたが、チケット収入が伸びなかったため、予算的な課題を抱えた。次回に向けて、他団体との連携や広報、広告も見直しをかけたい。
3. 同日開催イベントとの連携、相乗効果を図る点において、取り組みが甘かったように思う。今後は、連携を密にし、早目の取り組みを計りたい。

◎最後に

今回も、各地の映画祭、映画関係者、映画製作会社の方々から多くの情報と、ご支援をいただいた。全国の同志や協力していただけるの方々とのネットワークの広がりを実感することが出来、深く感謝の意を申し上げる。また、苦楽を共にし、健闘したスタッフを称えたい。

香川レインボー映画祭は、観客の温かい激励や、広がり深まりつつある絆を大切に、これからも地域の中に根付いていきたい。

今後も、映画を通して、性とライフスタイルの多様性を発信し続ける場であり続けたいと思う。

(第4回香川レインボー映画祭 実行委員長 藤田博美)